

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会
2023（令和5）年度臨時社員総会 議事録

1. 開催日時：2023（令和5）年9月27日（水） 18:30～18:48
2. 場 所：豊洲文化センター（東京都江東区豊洲2-2-18）
3. 社員総数 65名（議決権は、各1個）
出席社員数 52名（出席7名（うち議長以外の6名は議決権行使書提出）、議決権行使書提出者数36、委任状提出者数15（議長15））

出席理事（社員） 河合俊宏（会長（代表理事））、江原喜人（副会長）、中村俊哉（副会長）
植田瑞昌
出席監事（社員） 赤澤康史、伊藤和幸
出席事務局参与（社員） 沖川悦三
出席理事 伊佐拓哲
書記 深野栄子（協会事務局）
議決権行使書：36名
委任状：15（議長15）名

欠席理事 石濱裕規、桂律也（副会長）、杉本昌子、中村詩子、早川康之、
岡野善記、鈴木太、村田知之、森田千晶、山田賀久
※網掛けはウェビナーにて視聴

議事録署名人 沖川悦三（神奈川県総合リハビリテーションセンター）
中村俊哉（兵庫県立福祉のまちづくり研究所）

4. 審議事項
第1号議案 新役員の承認について

5. 社員総会資料
資料 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 新役員の承認について

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

江原副会長（総務統括）より、本日の社員総会は定款第28条、29条により定数を満たしたので、有効に成立した旨（社員総会規則第2条第1項により、社員総会を招集した2023年9月8日時点での、社員数は65名。総会会場の参加者25名、議決権行使書による参加者16名、有効な委任状による参加者10名、合計51名（※定款第28条第4項 議長は、社員として表決に加わることはできない。））を告げたのち、河合会長が定款第27条の規定に基づき議長に就任し、開会の辞を述べた。

定款第31条第2項「議長及び出席した社員の中から選任された2名の議事録署名人は、前項の議事録に署名又は記名押印する。」より、出席の代議員より議事録署名人2名を選出した。

- 第1号議案 新役員の承認について

議長より臨時社員総会資料の通り、役員候補者選挙により選出された理事候補者15名、監事候補者2名の新役員承認について審議を行った。

定款第 34 条「理事及び監事並びに会計監査人は、社員総会の決議によって選任する。」及び定款第 28 条第 3 項「理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第 1 項の決議を行わなくてはならない。」とあり、理事候補および監事候補ごとに審議結果が報告（下記参照）され、全候補者が承認された。

この社員総会終了後、新旧理事が交代する。

■理事候補（敬称略）

伊佐 拓哲	承認 50 名(議決権行使書 35 名、委任状 15 名)、非承認 1 名、棄権 0 名
植田 瑞昌	承認 51 名(議決権行使書 36 名、委任状 15 名)、非承認 0 名、棄権 0 名
江原 喜人	承認 50 名(議決権行使書 35 名、委任状 15 名)、非承認 1 名、棄権 0 名
桂 律也	承認 50 名(議決権行使書 35 名、委任状 15 名)、非承認 1 名、棄権 0 名
金井 謙介	承認 50 名(議決権行使書 35 名、委任状 15 名)、非承認 1 名、棄権 0 名
河合 俊宏	承認 49 名(議決権行使書 34 名、委任状 15 名)、非承認 2 名、棄権 0 名
北野 義明	承認 50 名(議決権行使書 35 名、委任状 15 名)、非承認 1 名、棄権 0 名
小島みさお	承認 50 名(議決権行使書 35 名、委任状 15 名)、非承認 1 名、棄権 0 名
小林 博光	承認 51 名(議決権行使書 36 名、委任状 15 名)、非承認 0 名、棄権 0 名
鈴木 太	承認 50 名(議決権行使書 35 名、委任状 15 名)、非承認 1 名、棄権 0 名
中村 詩子	承認 51 名(議決権行使書 36 名、委任状 15 名)、非承認 0 名、棄権 0 名
早川 康之	承認 51 名(議決権行使書 36 名、委任状 15 名)、非承認 0 名、棄権 0 名
村田 知之	承認 50 名(議決権行使書 35 名、委任状 15 名)、非承認 1 名、棄権 0 名
森田 千晶	承認 51 名(議決権行使書 36 名、委任状 15 名)、非承認 0 名、棄権 0 名
渡辺 崇史	承認 51 名(議決権行使書 36 名、委任状 15 名)、非承認 0 名、棄権 0 名

■監事候補（敬称略）

伊藤 和幸	承認 51 名(議決権行使書 36 名、委任状 15 名)、非承認 0 名、棄権 0 名
水澤 二郎	承認 51 名(議決権行使書 36 名、委任状 15 名)、非承認 0 名、棄権 0 名

■会計監査人

定款第 33 条第 2 項により、会計監査人は設置していないため候補者はなし。

質問・意見等（敬称略）【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆意見（敬称略）※意見については原文のまま記載

石濱裕規氏：理事の分掌と業務量のバランスにかなり格差があると感じます。なるべく 1 部の方々に負担が偏らないよう、配慮をお願いします。

■回答：業務量がどうしても多い分掌があり、配慮していく。

◆意見（敬称略）

繁成 剛氏：新役員体制で協会を発展させていただきようをお願いいたします。会員を増やすために、各方面への働きかけと、リハ工学および支援技術に関するイベント、オンラインセミナー等をできると協会の PR、会員増加、収入増に繋がるのではないかと考えています。その実行には内部化した SIG が大きな役割をもつと思いますので、ぜひご検討ください。

■回答：SIG が役割を担うが、バランスもあり、できる範囲で考えていく。

◆意見（敬称略）

田中芳則氏：私宛に送付された資料には全ページにプリンタの紙送りの跡がついたまま、汚れた資料が届きました。失礼とは思いませんか？プリンタ紙送り部分にトナーが付着していますので、メンテナンスをお願いいたします。

■回答：すべての方に紙送りの跡がついていると確認し、申し訳なく思う。

◆意見（敬称略）

松田靖史氏：リハ工協会の活動には大いに協力したいです。しかし、大昔の田中さんや末田さんの時には「～～して～～を良くする。」と言った国策への提言がありました。今の理事や理事長にその様なはたじるしを見つけられず。リハ工協会において何の活動を会員はできるのか？すべきなのか？さっぱり見えません。それが会員数減少の今の原因ではないですか？会員に、お金と時間を費やすに値する（着いて行く）目的、目標を示してください。それが無いと会員は増えないし、カンファレンスに来てくれないのでは？ぼくも、それが無いのであれば仲よしこよしするつもりはありませんので、リハ工協会をやめます。あしからず。

■回答：国策提言が十分ではないと認識しているが、現在は、国の施策に対して、厚生労働省の委員等として活動しており、それが会員に伝わっていないと考える。また、以前の現在とで課されている案件は異なっている。今後にむけては、松田氏を含めて議論していきたいと考える。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】 なし

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2023（令和5）年度臨時社員総会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（18時48分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に記名・押印する。

2023年9月27日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2023（令和5）年度臨時社員総会

議 長 河合俊宏 ㊟

議事録署名人 沖川悦三 ㊟

議事録署名人 中村俊哉 ㊟